

＼建設関係企業の社長や社員の方に聞きました／

～外国人材を受け入れるに当たって～

近年、生産年齢人口の減少に伴う
人材不足が顕在化し、
人材確保をめぐる地域・産業間の競争が
激化しています。

ここでは高度外国人材、
特定技能外国人を積極的に受け入れている
企業の社長や社員の方、外国人の方の生の声をお届けします！

地域の守り手として活躍されている外国人の受入れを
検討される方の一助になれば幸いです。



○目次○

- ・企業紹介(2～4 p)
 - 1 (有)ウッドライフ中島
 - 2 (株)盛武組
 - 3 (株)長瀬建設
- ・相談窓口(5 p)

令和4年3月



1 (有)ウッドライフ中島

○会社概要・紹介○

宮崎市内を拠点とし、木工事・内装工事業（下請工事が9割を占める）を始め、不動産業、ファイナンシャルプランニング業など展開しています。ニーズが多様化する現在、我が社にしかできない唯一無二のサービスを提供し、誰もが安心して暮らすことができる、建物・街づくりに誠心誠意取り組み、地域社会に貢献できる企業を目指します。



外国人雇用者数：1名（ベトナム人）
会社のHP：<https://woodlife-nakashima.net/>

■住所：宮崎県宮崎市大字小松3261
■TEL：0985-47-7715

対応者

代表取締役 中島 大治 様

ー 外国人材を受け入れたきっかけは何だったのでしょうか？

人手不足に頭を悩ませていたところ、元々取引先だった知り合いの方が、ベトナムで人材派遣関係の仕事をしており、そのご縁があって具体的に受け入れの検討を始めました。

ハローワークに応募を出すも、反応があまり無く、採用してもなかなか続かない状況だったため、多少は戸惑いもありましたが外国人雇用に踏み込むことにしました。

ー 社内での様子、生活などについて教えてください

現在**1名**、ベトナム人を雇用しています。来日して2年が経ちましたが、**毎日精力的に**頑張ってくれています。**CADの作成や積算**を行えるようになり、**飲み込みも早く**助かっています。ゆくゆくは日本で**資格を取得**してもらう予定です。

今は専務とバディを組ませており、**じっくり育成**するよう心掛けています。今後さらに**外国人を雇用**するつもりでいるため、彼とバディを組ませて受入体制を強化していきたいですね。

ベトナム人のコミュニティがあるので、休みの日はそのメンバーとスポーツなどをしてリフレッシュしているようです。



■チュウバオトゥアンさん

ー 悩んでいることはありますか？

強いて挙げるなら、**言葉の壁**ですね。易しく伝えることを意識しなければならぬと感じています。しかし、ベトナムの大学である程度日本語を学んで来日しているので、基本的なコミュニケーションで**不自由なことはありませんでした**。

休みの日は独学で勉強しており、意欲も高く、彼の姿勢には感心するばかりです。社員とも馴染んでおり、いきいきと仕事に打ち込んでくれています。

ー 建設業の魅力の伝え方について

事務所の内装、とてもおしゃれで素敵ですね。

弊社は木工事、内装工事を主力としているため、まずはオフィスからということで洗練された空間演出を心掛けています。未だ3Kのイメージを持たれることも多いので、一般的な**建設業のカラーを感じさせない社名、社風や広報**を意識して創っています。採用活動では、**キャリアアップ**できることをしっかりと示しています。知識・経験が無い方でも興味を持ってもらえるよう、現場を通して学び、資格を取ってもらいます。

やはり**慢性的な人材不足は喫緊の課題**です。新規学卒者については、工業系高校生を採用できたら良いのですが、正直厳しいです。思考を変え、**外国人材の雇用に踏み切ったのもそのため**です。

2 大変なこともあります。会社で**人材育成を進める意識**を大切にしながら、**雇用を拡大**していきたいですね。





ICTの開発・活用により省力化をめざす／

2 (株) 盛武組

○会社概要・紹介○

当社は、宮崎県内で土木工事全般を60年以上行っており、主に公共工事を中心に営業を行っています。従業員はベテランの域に達する者が揃っており技術力を向上させるには良い環境を与えられると考えています。個人のスキルアップのため多種多様なセミナー等に参加してもらい確実なスキルアップを目指しモチベーションの向上に努めています。

対応者

取締役 荒巻 友里 様
技術課長 一瀬 隆志 様
情報化ビジネス担当
Islam Mohammad Imuranul 様



外国人雇用者数：1名（バングラデシュ）
会社のHP：<http://moritakegumi.co.jp/>

■住所：宮崎県延岡市北川町長井3914
■TEL：0982-46-3435

ー 外国人材を受け入れたきっかけは何だったのでしょうか？

社長が知り合いの企業とバングラデシュへ出張した時のことです。その企業の外国人材受入の相談に同行し、話を聞いていたところ、社長が心打たれ、弊社でも受け入れることになりました。書類作成の業務も多い中で、**若手の負担を軽減したい**という思いもあり、良いタイミングとなりました。

ー 社内での様子、生活などについて教えてください

業務は**アプリの開発**を担当しています。ペーパーレス化や省力化を図るため、社員の情報管理や日報、行動予定表をシステム化する業務です。ビザの制約上、工事現場での業務には従事できませんが、今後は**現場でも使用できるモバイルアプリ**を開発できたらと考えています。

彼は英語・ベンガル語・日本語のトリリンガルで、アプリの開発でも英語が必要になるため、非常に助かっています。新しい言語、文化にはいい刺激があり、**異文化交流**もできて、**社員の意識も変わりつつ**あります。

■ イスラムムハマッドイムラヌルさん



ー 担い手確保に対する考えについて教えてください

弊社の採用活動では、県・延岡市の就職説明会やふるさと宮崎人材バンクを活用していますが、**実際は紹介や人づてで採用**することが多いですね。しかし、なかなか慢性的な人手不足は解決できません。そこで、海外に目を向け、**単純に技術だけでなく、省力化を図るためのICT人材の採用**に踏み切りました。社長の意向の影響力が大きかったと思います。

社内にアプリを導入することで、**若年者にも馴染みやすい職場環境**になり、相乗効果があると考えています。

ー 御本人に聞きました！今の生活はどうか？ 大変だったことはありますか？

来日は令和2年9月で、3か月間の留学期間(宮崎大学)を経て、令和3年1月に入社しました。大変だったことは、コミュニケーションや生活習慣に慣れることです。読書や普段のコミュニケーション、生活・経験で覚えたことをとにかく実践し覚えていきました。特に、食べ物(宗教上、豚由来のものを口にすることができない)に困っていましたが、2年も経てば慣れました。

近所にアパートを借りており、休日は散歩や部屋の掃除をして過ごしています。近隣の企業さんにバングラデシュから来ている方がいるので、最近よく会うようになりました。

7月にバングラデシュのお祭りがあるため、帰国したいのですが、新型コロナウイルス感染症の影響で結局2年も帰国できておらず寂しいです。

3 そのため、母国にいる家族や友人とのオンラインでの会話は欠かせません。





3

特定技能へステップアップ／

(株) 長瀬建設

○会社概要・紹介○

1979年に法人化し38年。これまで数々の難工事を従業員一丸となり、たてものづくりに注力してまいりました。

生命と財産を守る上で、強靱な建物をつくる事は重要なことである一方、従事する者は、高齢化が進み、就職する若者は少なく、技能の伝承が危ぶまれております。弊社では企業経営の最重要課題として新入社員を中心にOFF-JTに傾注し、「安全に、よいものをつくる」をモットーに進んでまいります。

対応者

専務取締役 福嶋 和人 様
管理部主任 長瀬 エミ 様



外国人雇用者数：3名（ベトナム）
会社のHP：<https://nagase-kensetsu.com>

■住所：宮崎県都城市高木町4769-4
■TEL：0986-38-1373

ー 外国人材を受け入れたきっかけは何だったのでしょうか？

元請からの紹介でした。15年前にも中国人を受け入れたことがあり、リーマンショックの影響で一時中止していましたが、社内の高齢化が進む中、将来を見据えた時に、必要性を強く感じ受入れを再開しました。

ー 社内での様子、生活などについて教えてください

平成30年からベトナム人を同時に3名受け入れています。3名とも4年目に入り、それぞれの意向を聞き、技能実習生から特定技能へ移行することにしました。みんな**勤勉、真面目**で戦力として非常に助かっています。普段は現場で技能者として型枠工事を行っており、基本的に現場の職長が指導を行いながら育成しています。職長サイドも、最初は戸惑いもあったようですが、コミュニケーションを重ねていく中で慣れていき、今では休日など一緒に釣りに行く間柄のようです。

いつでも休みを取って帰国して良いと伝えてはいますが、入国規制が緩和されなかったため、オンラインで家族や友人と通話するのは必須のようですね。また、3人のうち、1人が国際運転免許を取得しているため、行動範囲も広く、熊本へ遊びに行くこともあるようです。

コロナ禍で、外国人を街で見かけることは少なくなりましたが、ベトナム人のコミュニティの繋がりは大きいと感じています。宮崎県内地区対抗のサッカー試合もあるようで、休日はリフレッシュしながら、そのつながりを生かして情報交換も行っているようでした。

言葉の壁、文化の違いはいかがでしょうか？

困り事はないですね。会話の時は、丁寧で易しい日本語を使うことに意識するくらいです。現場は危険も伴い、専門用語も使用しますが、積極的にどういう意味か質問し、素早く覚えてくれます。また、日本の文化にも合わせてくれます。今後はインドネシア人の受け入れ予定があるため、断食などの文化についてはこちらも対応していきたいと思っています。

それから、悩みや意見を言ってもらいやすくするために、**SNSツールで相談窓口を設ける**など工夫もしています。

ー 担い手確保と今後の展望について

弊社の社員数は約60名で20代は5～6名です。新規卒者の採用については、工業系高校ではなく、都城市内の普通科から採用したこともあったため、その際は富士教育訓練センターを活用しながら、人材育成に傾注してきました。しかし、日本人はなかなか定着しないこともあり、外国人雇用はこの状況を打破してくれるかもしれないと感じています。

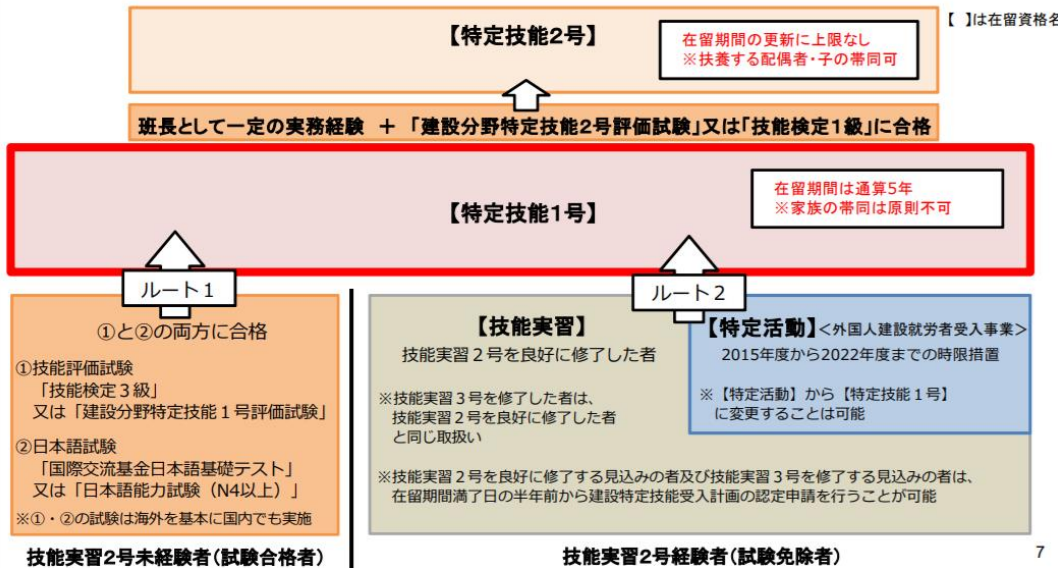
技能実習生の受入上限枠が6名であるため、入国の規制緩和が進めば引き続きベトナムとインドネシアから受け入れを検討しています。特定技能に移行した3人を彼らのチューターとして、お世話係を担ってもらう予定です。



～外国人材の雇用とキャリアパスについて～

社会資本の整備や維持・管理、災害復旧などに欠かせない重要産業である建設産業。その担い手確保は喫緊の課題となっています。

そこで、現場を支える技能労働者の厳しい人手不足に対応するため、「特定技能」の在留資格が平成31年に新設されました。日本人と同等の待遇で就労者として外国人を受け入れる制度です。



～相談窓口～

関連サイト

▶日本語教室などの事業紹介

公益財団法人
宮崎県国際交流協会
<https://www.mif.or.jp>

▶外国人の生活サポート相談窓口

がいこくじん
みやざき外国人サポートセンター
Miyazaki Support Center for Foreign Residents
<https://support.mif.or.jp>



▲国際交流協会QRコード



▲みやざき外国人サポートセンターQRコード

SNSも
随時発信中！



▲Instagram



▲Facebook

特定技能外国人制度を検討している方へ

▶ JAC

（一社）建設技能人材機構
<https://jac-skill.or/index.php>



無料オンライン
個別相談会も開催中！
ぜひ御活用ください！
＼既に受け入れている
方も個別対応可／

○問合せ○

宮崎県管理課建設業振興担当

電話 0985-26-7169

mail kanri@pref.miyazaki.lg.jp 5